



ともに生きる社会めざして！。
男女という性別だけではなく、
年齢、職業、身体状況、国籍
などにかかわらず、
誰もが互いの人権を認めあい、
一人ひとりが個性や能力を
十分に発揮できる社会。
秋田市はそんな社会の実現を
めざしています。

「第3次秋田市男女共生社会への市民行動計画」から



見つめ合い、認め合い。

第三次パートナーシップ プランを策定しました



市では、平成八年に男女共生社会の実現に向け「秋田市男女共生社会への市民行動計画（パートナーシッププラン）」を策定しました。平成十三年には、社会情勢の変化にあわせ、第二次行動計画を策定。仕事と家事、育児、介護との両立ができる支援体制の整備、市の審議会などへの積極的な女性登用などを進めてきました。

しかし、家庭、職場、学校などのあらゆる場において、「男だから」「女だから」という意識はまだ残っており、男女双方が自分らしい生き方を選択するためには、なお多くの課題が残されています。そこで市では、真の男女共生社

お互いが笑顔で 仕事ができる職場に

伊藤工業(株)代表取締役社長
伊藤満さん(雄和)



伊藤さん

会社ぐるみで男女共生の環境づくりに取り組んでいます。

お茶出しや掃除などは協力してやるようにしていますし、仕事の上でも男女区別なく、みんなが力を発揮できるよう心がけています。

建設関係という仕事柄、現場には男性が多いのですが、女性も活躍しますよ。責任感を持つてがんばってくれています。また、今年度は、取締役に女性を一人増やして二人にしました。女性の視点での、管理・運営に対する意見を期待しています。

社員みんなが笑顔で、そして楽しく仕事をしてくれることが一番の願いです。



会を確立するために、これまでの行動計画の内容をさらに見直し、第三次行動計画を策定しました。

三つの視点で取り組む

第三次行動計画では、三つの視点から、男女共生社会実現のための意識づくり、仕組みづくり、意欲づくり、生きがいづくり、地域づくりを進めていきます。

一つの視点は、

家族・家庭を出発点として

男女共生意識を育てる――

人に対する信頼、そして共生の意識。その多くは家庭生活の中ではなくまれていきます。一人ひとりの価値観や社会性が形づくられる最初の場である家族・家庭。そこを出発点として、人権尊重を基本とした男女共生意識を幅広くしていきます。

二つ目の視点は、

男女共生の開かれた生活環境を作る――

私たちの社会では、「男だから」「女だから」という固定的な性別役割分担意識によって、生きづらさを感じる場面が少なくありません。

家庭、職場、学校、地域など、あらゆる場において、男女共生意識を広げていくことによって、自分の気持ちをありのままに表現できるような、開かれた生活環境をつくりまします。

そして三つ目の視点は、

男女共生のいきいきとした毎日をおくる――

現代は長寿社会。私たちは生涯にわたっていろいろなことにチャレンジし、生きがいのある暮らしを長く続けたいと願っています。

男女共生意識が広がることで、一人ひとりが個性や能力を十分に発揮でき、自律した日常生活を営

むことができるようになります。たくさんの人たちと仲良く手を取り合って、いきいきとした毎日を過ごしましょう。

育ちの場、活躍の場を充実

具体的な行動計画には、次のようなものがあります。

家族・家庭から男女共生の理解を

性別による固定的な役割意識

や慣習を見直すためのフォーラムや講座を開催

女性の人材育成…でき

るだけ多くの女性に政策、地域活動などの意

思決定の場に参画しても

らうための養成セミナーを

開催

女性の登用率を50%に…秋田市女性

人材リスト（ ）などを活用し、市の審

議会などに積極的に女性を登用

市役所も男女共生の意識を…「男

女共生推進員」となる職員を任命

し、職場で共生の意識を高める

男女共生社会の実現には、まず

相手をよく知ることが第一歩。お

互いをしっかり見つめて、そして

認めあうこと。そこから始めてみ

ませんか。



問い合わせ

男女共生・次世代育成支
援室(TEL)866-2141

秋田市女性人材リスト…各種審議会などへ女性の登用促進を図るための女性人材情報のリスト

声をよく聞くことで つながりが生まれる

秋田市男女共生行動計画
策定部会・座長

望月一枝さん

今回の計画策定にあたっては、男女共生に対する秋田市としての方向性、そしてこれまで活動してきた市民の思い、この二つをうまくドッキングさせるのに苦心しました。ことばをよく吟味し、計画にたずさわった全員が納得するまで、熱い議論を重ねました。

「男女共生」ってむずかしいことのようにですが、大事なのは、「さまざまな人の声を聞く」ということだと思っんです。そこから人と人とのあたたかいつながりが生まれ、主体性、積極性が引き出されて、家庭が、職場が、そして秋田市がいきいきしてくるのではないのでしょうか。



望月さん